

平成28年度版

飛騨・美濃じまん白書



平成27年度 飛騨・美濃じまん運動の進捗について

岐阜県観光国際局

# 目次

P

## 第1章 岐阜県の観光の現状

1 本県の観光の現状	
～平成27年岐阜県観光入込客統計調査～	
(1) 観光入込客数及び観光消費額	1
(2) 観光地点別の集客数	2
(3) 行祭事・イベント入込客数	3
(4) 観光客の内訳	3
(5) 外国人宿泊客数	5
(6) 経済波及効果	5

## 第2章 「観光王国飛騨・美濃」に向けて実施した主な取組

1 地域特性を活かした宿泊滞在型観光地「清流の国ぎふ観光回廊」づくり	
(1) 観光資源間の連携促進	6
(2) 観光資源の更なる魅力向上	15
(3) 受入体制の強化・充実	25
2 大都市圏をメインターゲットとした国内誘客の促進	26
(1) 様々な情報媒体を活用した魅力発信	27
(2) 集客に直結するキャンペーン・イベントの展開	31
(3) 魅力ある旅行商品の造成促進	
3 海外の動向を踏まえた誘客戦略の展開	
(1) プロモーション活動の継続的かつ着実な展開	34
(2) 外国人向けの魅力的な旅行商品の造成・販売	35
(3) ターゲット市場の的確なマーケティング	36

## 参考資料

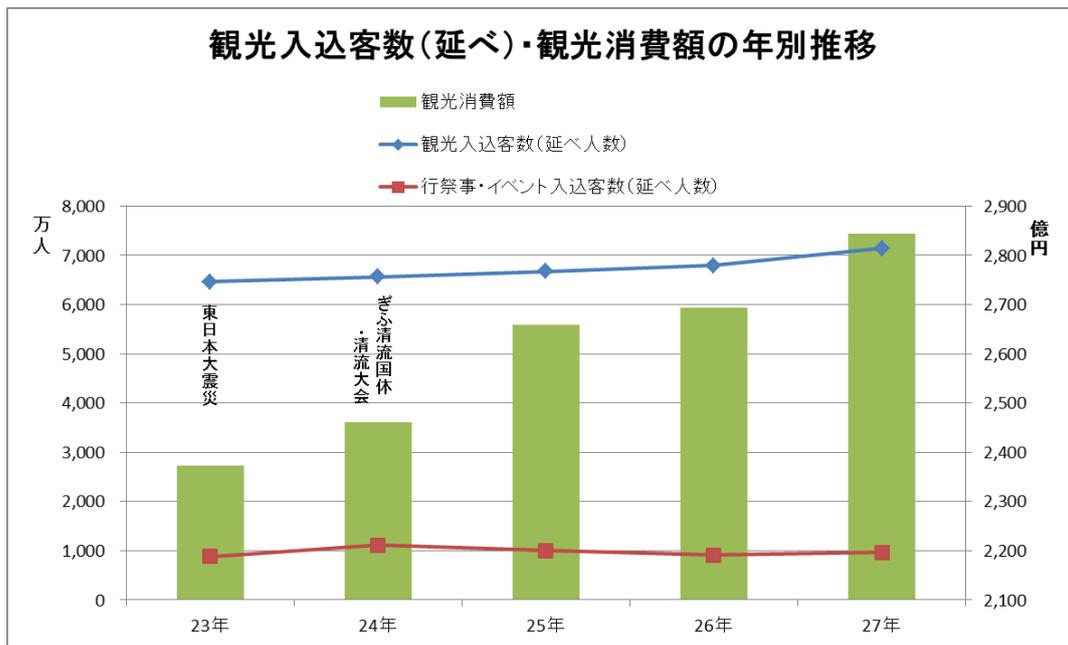
1 みんなでつくろう観光王国飛騨・美濃条例	38
2 「清流の国ぎふ」憲章	41

# 1

# 岐阜県の観光の現状

## 1 本県の観光の現状 ～平成27年岐阜県観光入込客統計調査～

### (1) 観光入込客数及び観光消費額



区 分		平成27年(対前年比)	参考：平成26年
観光入込客数(延べ人数)		7,139万5千人(+5.1%)	6,791万人
行祭事・イベント入込客数(延べ人数)		967万3千人(+6.3%)	909万5千人
観光消費額	全 体	2,843億74百万円(+5.5%)	2,694億41百万円
	日帰り客	1,228億16百万円(+6.3%)	1,155億77百万円
	宿 泊 客	1,615億58百万円(+5.0%)	1,538億64百万円

※平成23年の調査より、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」を導入し、調査手法を変更している。

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

出典) 平成27年「岐阜県観光入込客統計調査」

- **観光入込客数(延べ人数)** は、7,139万5千人(対前年比+5.1%)、  
**行祭事・イベント入込客数(延べ人数)** は、967万3千人(対前年比+6.3%)と、  
 いずれも前年に比べて増加している。

- **観光消費額**の総額は2,843億74百万円(対前年比+5.5%)で、うち日帰り客分は1,228億16百万円(対前年比+6.3%)、宿泊客分は1,615億58百万円(対前年比+5.0%)と、入込客数増加と連動して、いずれも前年に比べ増加している。
- **主な増加要因**は、以下のとおり。
  - ・平成26年は夏休み期間や秋の行楽期の天候が悪く、入込客数が伸び悩んだが、平成27年は1年を通じて概ね天候に恵まれ、旅行しやすい環境にあったと考えられる。
  - ・高山市街地エリアや白川郷合掌造り集落の入込客数が大きく増えており、北陸新幹線延伸開業(平成27年3月)により、北陸経由の入込客が増加したと考えられる。
  - ・中国人向けビザの大幅緩和や円安傾向を背景に外国人観光客が大きく増加している。

## (2) 観光地点別の集客数(県内トップ10)

順位	観光地点名	入込客数 (万人)	参考：26年	
			順位	入込客数 (万人)
1	土岐プレミアム・アウトレット	735.8	1	591.6
2	河川環境楽園(アクア・トトぎふ含む)(各務原市)	505.2	2	500.7
3	高山市街地エリア	346.2	3	312.3
4	千代保稲荷神社(海津市)	162.9	5	175.5
5	白川郷合掌造り集落(白川村)	161.2	9	129.5
6	湯の華アイランド(可児市)	154.6	4	206.2
7	千本松原・国営木曾三川公園(海津市)	153.4	6	154.7
8	伊奈波神社(岐阜市)	149.7	7	149.7
9	世界イベント村ぎふ(岐阜メモリアルセンター)(岐阜市)	144.0	8	131.6
10	下呂温泉(旅館の宿泊利用及び日帰り利用)	113.1	10	111.5

出典)平成27年「岐阜県観光入込客統計調査」

- 観光地点毎の入込客数は、1位から3位までの地点の順位に変動はなかった。
- 平成26年11月に増床を行った土岐プレミアム・アウトレットは好調が続いており、大幅に入込客数を伸ばした。
- 平成27年3月の北陸新幹線延伸開業を追い風に、飛騨地域の主要観光地の入込客数が大きな伸びを見せており、特に、白川郷合掌造り集落は前年比2割以上の増で順位を5位に上げている。

### (3) 行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

順位	行祭事・イベント名	入込客数(万人)	参考：26年	
			順位	入込客数(万人)
1	長良川花火大会（岐阜市）	80.0	1	65.0
2	ぎふ信長まつり（岐阜市）	40.0	10	20.5
3	郡上おどり	32.0	5	25.1
4	大垣まつり	27.0	8	22.0
5	元気ハツラツ市（大垣市）	26.0	2	32.5
6	刃物まつり（関市）	25.0	6	25.0
	土岐美濃焼まつり	25.0	12	20.0
8	道三まつり（岐阜市）	24.0	4	30.0
	濃尾大花火（羽島市・一宮市市民花火大会）	24.0	13	16.0
10	高山祭	23.9	3	30.2

出典) 平成27年「岐阜県観光入込客統計調査」

○行祭事・イベント毎の入込客数の県内トップは、昨年と同じ「長良川花火大会」（岐阜市）で80万人、2位が「ぎふ信長まつり」（岐阜市）で40万人、3位が「郡上おどり」（郡上市）で32万人となった。

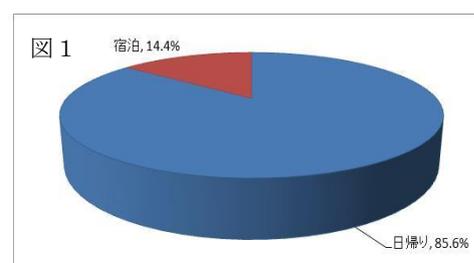
○天候によって入込が大きく変動するため、前年に天候不順であった「ぎふ信長まつり」や「郡上おどり」が大幅に入込客数を伸ばして上位にランクインした一方、好天に恵まれなかった「高山祭」などが順位を下げた。

### (4) 観光客の内訳

#### ①日帰り・宿泊別観光客数（実人数）

区分	平成27年（対前年比）	参考：平成26年
全体	4,360万1千人（+18.3%）	3,686万3千人
日帰り客	3,731万1千人（+19.3%）	3,128万7千人
宿泊客	628万9千人（+12.8%）	557万5千人

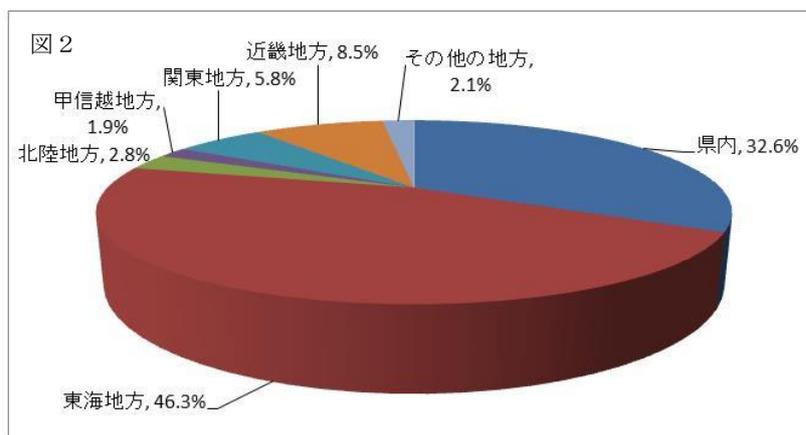
平成27年の観光入込客数（実人数）は4,360万1千人であったが、これを日帰り・宿泊別にみると、日帰り客は3,731万1千人、宿泊客は628万9千人であり、依然として日帰り客が多い。（図1）



## ②居住地別観光入込客数

居住地別に見ると、県全体では県内客は1,419万9千人（構成比32.6%）、県外客は2,940万2千人（構成比67.4%）と、県外客が多くを占めた。特に飛騨圏域では県外客の割合が80.0%と高い。

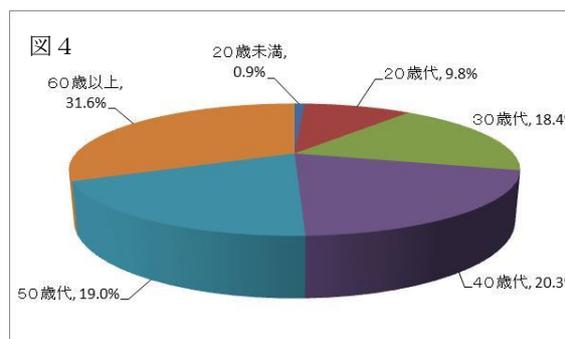
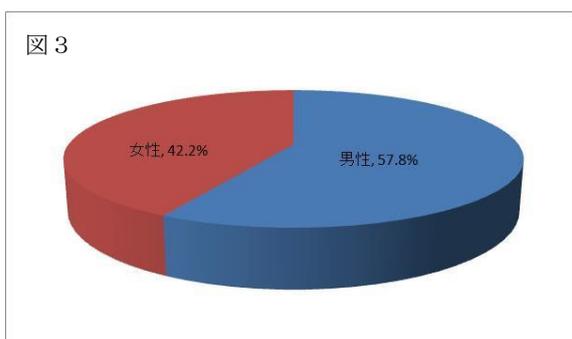
県外客のうち約7割が東海地方からの観光客であり、以下近畿、関東地方と続いている。（図2）



## ③男女別・年齢別観光入込客数

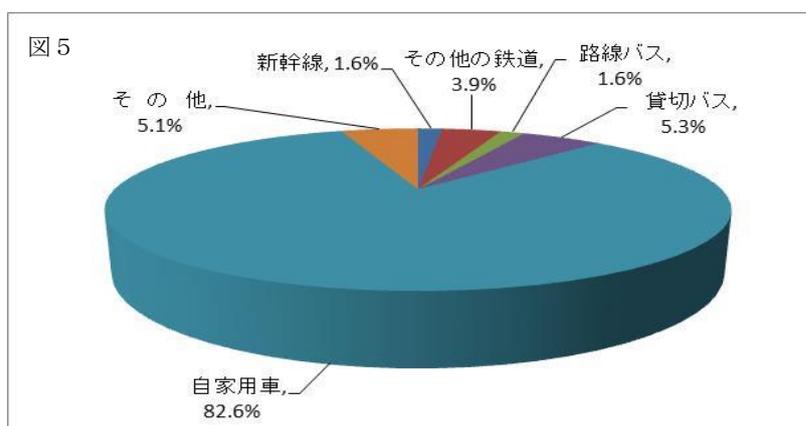
男女別で見ると、男性が2,520万5千人（構成比57.8%）、女性は1,839万6千人（構成比42.2%）と前年に引き続き、男性が多かった。（図3）

年齢別では、60歳以上が31.6%と最も多く、以下40歳代、50歳代と続いている。（図4）



## ④利用交通機関別観光入込客数

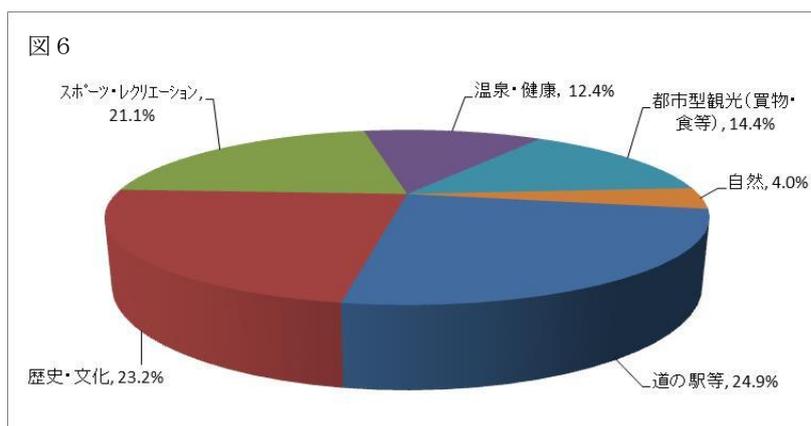
利用交通機関別に見ると、自家用車が最も多く全体の82.6%を占め、鉄道や路線バスなどの公共交通機関の割合は低い。（図5）



### ⑤観光地分類別観光入込客数

観光地分類別に見ると、「道の駅等」、「歴史・文化」、「スポーツ・レクリエーション」の順に多く、以下、「都市型観光（買物・食等）」、「温泉・健康」、「自然」と続く。

(図6)



### (5) 外国人宿泊客数

外国人の宿泊者数（延べ人数）は93.1万人となり、対前年比+55.7%と大幅に増加した。国籍別に見ると、中国が16.4万人で最多、次いで台湾14.4万人、香港8.6万人と続いている。中国、ベトナム、香港などアジア圏のほか、イギリス、ドイツなど欧州からの宿泊も大きく伸びている。

出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」(平成27年1月～12月)

### (6) 経済波及効果(推計)

平成27年の県内観光消費による経済波及効果(観光関連産業の経済波及効果)を試算したところ、生産誘発額は4,213億97百万円、就業誘発効果は、39,615人となった。

## 2

# 「観光王国飛騨・美濃」に向けて実施した主な取組み

## 1 地域特性を活かした宿泊滞在型観光地「清流の国ぎふ観光回廊」づくり

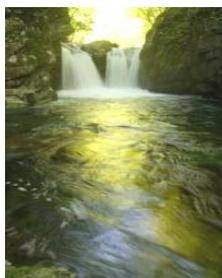
### (1) 観光資源間の連携促進

#### ■「岐阜の宝もの」活用プロジェクトの推進

飛騨・美濃じまん運動を具体的に推進するため、平成19年度から県民一人ひとりが考えるふるさとのじまを募集し、延べ1,811件の応募の中から、今後の観光振興に資する「じまの原石」を56件選定。その中から、全国に通用する観光資源になることが期待される「岐阜の宝もの」を5件、それに次ぐ「明日の宝もの」を11件認定し、地域が主体となった地域資源の魅力向上に向けた取組みを支援してきた。平成25年度からは、これまでに掘り起こし、磨き上げてきた「岐阜の宝もの」等新たな観光資源と既存の有名観光資源等との連携を促進し、県内宿泊と県内周遊の必然性向上を図る取組みを推進している。

岐阜の宝もの	小坂の滝めぐり、東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋、 乗鞍山麓五色ヶ原の森、天生県立自然公園と三湿原回廊、 中山道ぎふ17宿
明日の宝もの	川原町界限、郡上鮎、八百津のおやつ、美濃白川四季彩街道、 岩村城跡と岩村城下町、中津川市の栗きんとん巡り、 笠置山クライミングエリア、種蔵「棚田と板倉の風景」と山里文化、 美濃竹鼻まつり・ふじまつり、 大垣水景物語（大垣の湧水・地下水、水まんじゅう、住吉燈台・船町港・赤坂港、木柁、名水わさび、水屋群などの風景と輪中文化）、 岐阜ローカル鉄道の旅（養老鉄道、長良川鉄道、明知鉄道、樽見鉄道）
じまの原石	岐阜城パノラマ夜景、羽島市歴史民俗資料館・羽島市映画資料館、 各務原キムチで都市おこし、伊自良連柿・富有柿・おふくろ柿、 木曾川凧揚げ大会と木曾川エリア、「おちょぼさん」門前町、ベーめん、 谷汲門前町、徳山ダム、薬草、池田山、刃物ミュージアム回廊、 まちな名物つるむらさきうどん、神と仏の里いとしろ、食品サンプル、 飛騨美濃せせらぎ街道、美濃焼と日本酒の融合「美濃陶酔」、 美濃焼窯場めぐり、笠原のタイル、こころのふるさと「虎溪山地区」、 清流付知峡で自然浴、櫻堂薬師、山岡細寒天と恵那山麓寒天豚、 温故知新 大正100年への誘い、串原の布ぞうり、土岐市の窯元めぐり、 ふるさと体験飛騨高山、東山寺町と文化財めぐり、龍の瞳、鶏ちゃん

## 【岐阜の宝もの】



小坂の滝めぐり



乗鞍山麓五色ヶ原の森



東濃地方の地歌舞伎と  
芝居小屋



天生県立自然公園と  
三湿原回廊



中山道ぎふ 17 宿

### ■観光資源間の連携による宿泊滞在型モデル地域の創出

#### ○「清流の国ぎふ」観光回廊づくり推進事業費補助金

本県の恵まれた地域資源・地域特性を活かし、県内の周遊性、滞在時間等を増加させるため、地域主体の広域的な連携や役割分担による取組みに対して、必要と認める経費について支援を行った。

・平成27年度交付件数：18件

### ■自立的な観光地域づくりの推進

#### ○「岐阜の宝もの」等観光資源活用セミナーの開催

「世界に誇る遺産」や「岐阜の宝もの」などの観光資源を有効に活用し、インバウンド需要の取り込みや、国内旅行者のリピーター確保を図っていくため、いかにして、「売れる観光資源」に育てていくかをテーマとしたセミナーを開催した。

・開催日：平成28年2月11日（木・祝）ソフトピアジャパン(大垣市)

・参加者：県内観光関係者、行政関係者等 約200人

・内 容：基調講演 テーマ「観光資源に関する思い違い」

講師 本保 芳明 氏（観光庁参与、東京工業大学特任教授 ※初代観光庁長官）

県の取組み紹介 「岐阜の宝もの」プロジェクトの成果と期待

須田 寛 氏（東海旅客鉄道（株）相談役）

観光資源活用に関する県の支援方針

岐阜県観光国際局 観光企画課

パネルディスカッション テーマ「観光資源の市場化に向けて」

パネリスト 蒲 勇介 氏（NPO法人ORGAN 理事長）

坂本 桂二 氏（長良川鉄道（株）専務取締役）

山田 拓 氏（（株）美ら地球 代表取締役）

コーディネーター 古田 菜穂子（岐阜県 観光国際戦略顧問）



基調講演



パネルディスカッション

○観光資源ブラッシュアップ有識者派遣支援事業

地域が主体的に行う地域資源のブラッシュアップの取組みを支援するため、地域からの要請に応じ、必要な有識者の派遣を行った。

- ・平成27年度派遣実績：2団体（4回）

■観光資源連携確立事業

○「中山道ぎふ17宿」連携確立事業

「岐阜の宝もの」である「中山道ぎふ17宿」の更なる魅力向上と、沿線関係者の連携強化、地域における運営体制の構築をめざし、各種プログラムの開発・ブラッシュアップ、人材育成、情報発信等を展開。秋には、シンボルイベントとなる「中山道ぎふ17宿歩き旅2015」を開催した。

（中山道ぎふ17宿歩き旅2015）

- ・期 間：平成27年9月26日(土)～11月29日(日)
- ・内 容：体験プログラム(25コース)、散策プログラム(20コース)、ウォーキングプログラム(3コース)、スタンプラリー
- ・参加者：約3,600人



体験プログラム（華ずしづくり 大井宿）



ウォーキングプログラム

○地歌舞伎と芝居小屋を活用した外国人誘客事業

「岐阜の宝もの」である「東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋」の認知度向上を図り、

県内への誘客を促進するため、年々増加する外国人観光客をターゲットとした受入体制の整備や、これまで定期公演でしか見ることのできなかった地歌舞伎に触れる機会を増やすため、特別講演や出張公演等を実施した。

(定期公演における外国人の受入)

地歌舞伎保存会が行う定期公演に外国人を受け入れ特典付きの公演を4回実施した。

・参加者数41人(うち外国人20人)

〈特別講演〉

定期公演以外に観光客をターゲットとした特別講演を13回実施した。

- ・英語通訳付き地歌舞伎プチ講座
- ・地歌舞伎の入門編として15分程度の特別演目を上演
- ・地歌舞伎役者と記念撮影
- ・参加者数870人(うち外国人229人)

〈出張公演〉

地歌舞伎のミニ公演や化粧・衣装体験ショーをホテルやイベント会場などで7回実施した。

・参加者数586人(うち外国人258人)



馬籠宿での特別公演



化粧体験

## ■主要観光地の再生

○充実する交通インフラを活かした主要観光資源の誘客強化

平成32年の東海環状自動車道全線開通や平成39年のリニア中央新幹線開業など、今後、本県の交通インフラはますます充実する。これを本県の観光入込客の拡大に向けて最大限活かすため、市町村等と連携し、主要な観光資源の魅力向上や再整備を行った。

(関ヶ原古戦場)

関ヶ原古戦場は、壬申の乱、関ヶ原の戦いと天下分け目の合戦が2度繰り広げられた場所であり、歴史資源としての知名度も高い。さらに、近隣には墨俣一夜

城や岐阜城など、戦国時代にまつわる資源が多く存在することから、関ヶ原古戦場を核とした滞在・周遊型観光の促進に向け、昨年度、策定した「関ヶ原古戦場グランドデザイン」に基づき、史跡の再整備等受入環境の充実、関ヶ原の魅力発信の強化を行った。

- ・史跡の整備（文化庁補助金活用）
  - 関ヶ原古戦場史跡の活用・整備計画の策定、徳川家康最後陣地の整備。
- ・旧関ヶ原北小学校の施設撤去（内閣府補助金活用）
  - 体育館、プールなど活用見込の無い施設について撤去工事を実施。
- ・「大地の物語」基礎調査
  - 東西文化の接点としての事象等に関する事例収集と活用手法の調査を実施。
- ・海外古戦場との交流
  - ゲティスバーグ（アメリカ）、ワーテルロー（ベルギー）といった海外の古戦場との交流、連携活動を支援。
- ・体験プログラムの創出、常設体験プログラムの運営支援
  - 甲冑着付け体験プログラムの実施など、笹尾山交流館の運営を支援。
- ・駅前観光交流館での広域物産販売等の支援
  - 駅前観光交流館物販コーナーにおける武将ゆかりの地や海外古戦場の特産品販売活動を支援。
- ・西濃広域連携イベント
  - 大垣市、垂井町、関ヶ原町と連携した有識者講演会や体験プログラム、海外古戦場に関する展示会の実施。
  - 大垣市 6 回、垂井町 6 回、関ヶ原町 7 回
- ・関ヶ原古戦場ビジターセンター（仮称）基本構想、基本計画策定
- ・関ヶ原の戦いを紹介する各種映像コンテンツ、シナリオ等の制作
- ・関ヶ原アーカイブス（仮称）収集資料に関する基礎調査
- ・説明案内板、誘導サインに関するガイドライン策定
- ・関ヶ原駅前観光交流館オープンを記念した「発信！発進！関ヶ原2015」イベントの開催

開催日・会場	イベント名
10月4日(日) (駅前観光交流館)	駅前観光交流館 開所式 (テープカット、7 武将パフォーマンス・武者行列)
(ふれあいセンター)	オープニング記念式典 (アトラクション (和太鼓)、オープニングトーク (三輪嘉六氏) トークセッション (長野剛氏、小日向えり氏等)
	海外古戦場勉強会

10月10日(土) (ふれあいセンター)	関ヶ原 2015 リレー講演会 (小和田哲男氏) 関ヶ原スペシャルトークイベント(藤岡弘氏、屋敷陽太郎氏)
10月10日(土)～11日(日)	関ヶ原合戦祭り
10月17日(土) (笹尾山会場) (陣場野会場)	灯す「夜の古戦場」(夜の行軍、関ヶ原合戦陣形、古戦場ライトアップ、花火) SEKIGAHARA SAMURAI SCHOOL
10月18日(日) (JR垂井駅～笹尾山) (ふれあいセンター)	戦国関ヶ原合戦ファミリーウォーキング(勅使川原郁恵氏) 関ヶ原スペシャルトークイベント「西国大名と関ヶ原」(福岡市博物館学芸員等) 関ヶ原スペシャルトークイベント「戦国秘話を訪ねて」(渡邊あゆみ氏)
10月4日～18日 (駅前観光交流館)	長野剛「7人の武将」イラスト原画展 古今東西物産展(ワートルロー、ゲティスバーグや7武将ゆかりの地域の特産品等の販売)
10月4日～12日 (ふれあいセンター)	NHK大河ドラマ「真田丸」番組紹介パネル展示 NHK大河ドラマ小道具展 海外の古戦場パネル展
10月4日～18日 (歴史民俗資料館)	刀剣展「美濃の刀剣 西美濃・志津から美濃・兼元」



駅前観光交流館 開所式



発信！発進！関ヶ原 2015「灯す夜の古戦場」

・関ヶ原古戦場サミットの開催

日時：平成28年3月19日(土) 13:00～15:30

場所：関ヶ原ふれあいセンター 大ホール(約480席)

概要：世界三大古戦場関係者によるプレゼンテーション

世界三大古戦場関係者によるパネルディスカッション

世界三大古戦場共同宣言

出演者：ワーテルロー市文化担当助役、ゲティスバーグ区マネージャーほか

NHK大河ドラマ「真田丸」連携プログラム（片岡愛之助トークセッション）



世界三大古戦場共同宣言

（恵那山南山麓）

重要伝統的建造物群保存地区である「岩村町本通り」、県が平成23年度に「明日の宝もの」に認定した「岩村城跡と岩村城下町」が所在する恵那山南山麓は、リニア中央新幹線開業を観光誘客に活かすことができるエリアである。城下町の電線地中化や、地元の熱心な取組みにより、近年観光客数が増えているが、さらなる魅力向上や、「明知鉄道」など周辺観光資源と組み合わせた滞在・周遊型観光推進に向け、恵那市が実施する観光振興の取組みを支援した。

- ・空き家改修

伝統的建造物である空き家を、民間団体への補助を通じ、ゲストハウスとして改修。

- ・岩村城下町観光客用トイレ整備

団体観光客を受け入れ可能とするため、男、女、障がい者別にトイレを改修。

- ・外国人誘客に備えた受け入れ環境の整備

研修会や勉強会、他観光地の視察など地元受け入れ環境を整備。

- ・体験ツアー等の実施

田舎暮らし体験、佐藤一斎めぐり等の体験イベント、ツアーを実施。

- ・SLにかかわるイベント等の実施

「蒸気機関車による観光再生可能性調査」結果を踏まえ、SLによる観光活性化を目指したPRイベントを実施。

- ・ご当地グルメ等、特産品の開発

岩村地域の特産品を活用したご当地グルメ等の商品化に向け、研修、試作品の試験販売等を実施。

(県営4公園の誘客強化)

県営公園の中でも集客力が高く、かつ、対策を施すことで誘客の強化が期待できる「花フェスタ記念公園」(可児市)、「平成記念公園日本昭和村」(美濃加茂市)、「養老公園」(養老町)、「世界淡水魚園・世界淡水魚園水族館」(各務原市)について、集客効果の高いイベントの開催や公園相互利用のためのシャトルバス運行、施設の魅力向上のための補助など誘客拡大に向けた取組みを、各公園の指定管理者と連携して推進した。

(花フェスタ記念公園)

- ・世界に誇るバラ園を有する花フェスタ記念公園の魅力を国内外へ再発信すること、及び、花を通して、清流に育まれた岐阜県の豊かな自然環境を再認識し、将来に向け受け継いでいくことを確認することを目的として、「花フェスタ2015ぎふ」を開催した。

〈花フェスタ2015ぎふ〉

- ・開催期間：平成27年5月16日(土)～6月21日(日) 37日間
- ・場所：花フェスタ記念公園(可児市瀬田1584-1)
- ・主催：花フェスタ2015ぎふ実行委員会
- ・来場者数：416,226人(37日間)

(平成記念公園日本昭和村)

- ・花フェスタ2015ぎふに合わせ、相互利用を促すための割引や無料シャトルバスの運行を実施した。

(養老公園)

- ・滝谷商店通りの店舗修景への補助を実施した(3件)。

## ■かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアルの推進

○かかみがはら航空宇宙科学博物館のリニューアルに先行して新たな体験装置や展示物を導入

航空宇宙産業の集積地の中核施設としてのPR、子供たちを同産業の人材確保につなげるための拠点としての活用とともに、産業観光施設として集客を図るため、平成30年3月の再オープンを目指し、同博物館のリニューアルに取り組んでいる。

平成27年度は、魅力向上事業として、再オープンに先行して新たに体験装置や展示物を導入し、誘客に努めた。

(かかみがはら航空宇宙科学博物館魅力向上事業)

- ・体験装置や展示物の設置

航空機シミュレーター等の体験装置やJAXAから借り受けたH-2ロケットのメインエンジン等を導入。

- ・映像の制作

各務原市にゆかりのある航空機紹介や航空技術開発に携わった技術者の功績等を紹介する映像を制作。



かかみがはら航空宇宙科学博物館

## ■各地域の魅力の源泉（人、景観、歴史、文化、まち、食、産業等）を活かしたテーマ別観光の推進

### ○「美濃焼」めぐる旅推進事業

「美濃焼」の窯元や窯場を巡る散策ルートの造成、窯元での作陶体験など常時体験可能なプログラムの造成、美濃焼観光に係る情報の発信を目的とするホームページの作成など受入環境の整備を行った。またタクシー事業者と連携して美濃焼観光タクシーコースを造成し、美濃焼関連施設や地域の観光施設を巡る周遊型観光を推進した。

- ・体験プログラム提供に関する説明会の開催
- ・美濃焼観光ホームページ「美濃焼くるくる」の開設

### ○「円空のふるさと」めぐる旅推進事業

円空の魅力を県内外に広く発信し、観光誘客につなげるため、(一社)岐阜県観光連盟が運営するホームページ「ぎふの旅ガイド」内に、円空や円空仏を紹介するウェブページ「円空～微笑みに出会う旅～」を設けるとともに、円空に関連する施設や史跡等を組込んだ観光ルートを造成し、円空を巡るモデルコースとして情報発信を行った。

また、県内の円空仏展示施設において案内業務を行う者等を対象として、円空及び円空仏に関する知識の習得・向上と基本的な接客スキルの習得を目的とする「円空おもてなし案内人育成研修」を実施した。

- ・ウェブページ「円空～微笑みに出会う旅～」の開設
- ・「円空おもてなし案内人育成研修」の実施



ウェブページ  
「円空～微笑みに出会う旅～」

### ○産業観光ネットワーク形成推進事業

愛知県と連携して、両県の産業観光施設をめぐるバスモニターツアーを実施することにより、産業観光施設の受入環境の整備並びに産業観光施設のネットワーク形

成を図った。また両県の産業観光施設の魅力を一体的にPRすることにより、各産業観光施設への観光集客を促進した。

- ・産業観光PRパンフレット「見にとりっぽ」の作成
- ・産業観光施設をめぐるバスモニターツアーの実施  
名古屋駅又は岐阜駅を発地とし、両県の産業観光施設各1か所以上を訪問するツアーを8回催行した。  
名古屋駅発着 4コース 参加人数：140人  
岐阜駅発着 4コース 参加人数：103人



産業観光PRパンフレット  
「見にとりっぽ」

## ■周遊観光を促進する情報ツールの作成

### ○PRツール発行事業

岐阜県の情報を発信し、旅行意欲を喚起するとともに、実際に県内を訪れた際のガイドブックとしても活用できるよう、季刊情報誌「岐阜っぽ。」を企画・作成し、県内外でのイベント等で配布したほか、県内市町村（観光協会等）、高速道路のサービスエリア、道の駅などで配布した。

（発刊概要）

- ・ 6月：夏号 12万部
- ・ 9月：特別号 5万部
- ・ 10月：秋号 4.8万部
- ・ 12月：冬号 4.8万部
- ・ 3月：春号 4.8万部

※雑誌じゃらん（東海版）にブック・イン・ブック形式で綴じ込み、本誌とともに流通させたほか、個別に4.8万部を作成し、県内市町村や道の駅へ配布



夏号



特別号



秋号



冬号



春号

## （2）観光資源の更なる魅力向上

### ■白川郷合掌造り集落の世界文化遺産登録20周年記事業

白川村が実施する白川郷合掌造り集落の世界文化遺産登録20周年記念事業への支援を中心とし、首都圏をはじめとした大都市圏からの観光客を、白川村及び飛騨地域、

さらに岐阜県全体への誘客に結びつけていくための観光プロモーション等を実施。  
(観光プログラム)

○白川郷獅子舞競演会

日程： 平成27年6月14日(日) 10:00~15:30

場所： 荻町合掌造り集落内 白川八幡神社境内

内容： ・各地に伝わる獅子舞の披露  
(白川村5団体、富山県南砺市2団体、高山市1団体、)  
・太鼓芸能集団「鼓童」スペシャルコンサート

来場者： 約1,500人

○CINEMA CARAVAN in 白川郷

日程： 平成27年7月18日(土)~20日(月・祝)

場所： 野外博物館 合掌造り民家園

内容： ・野外にスクリーンを設置して行う映画上映  
・白川村の食材などを使った料理の屋台販売  
・夏の一斉放水

来場者： 7/18:475人、7/19:878人、7/20:457人

○美濃和紙あかりアート in 白川郷合掌造り集落

日程： 平成27年8月29日(土)、30日(日)(荻町合掌造り集落)  
： 平成27年9月1日(火)~30日(水)(合掌造り民家園)

場所： 荻町合掌造り集落、合掌造り民家園

内容： ・あかりのオブジェの展示、ライトアップ  
・白川村観光大使 二胡奏者「ウェイウェイ・ウー」さんによるスペシャルコンサート(8月29日のみ)

来場者： 8/29:1,000人、8/30:500人

○大白川溪谷原生林トレッキング

日程： 平成27年9月19日~22日 11:00~15:30

場所： 道の駅 飛騨白山(集合)

内容： ・大白川溪谷原生林の手軽なトレッキング

参加者： 9/19:16人、9/20:16人、9/21:22人、9/22:19人

○世界遺産・白川郷と白山ユネスコエコパーク・大白川を歩こう!

日程： 平成27年10月3日~4日、10日~11日、  
10月31日~11月1日

場所： トヨタ白川郷自然学校(集合)

内容： ・1泊2日で行う手軽なトレッキング  
・合掌造り集落周辺の里山、大白川溪谷原生林のトレッキング

参加者： 10/3~4:9人、10/10~11:19人、10/31~11/1:21人

○秋のライトアップ

日程： 平成27年11月9日（月）、12月9日（水）

場所： 荻町合掌造り集落の一部、合掌造り民家園

内容： ・秋の紅葉に包まれた合掌造り集落を照らす特別ライトアップ

○世界遺産・白川郷 里山スノーシュートレッキング

日程： 平成28年2月27日（土）、28日（日）

場所： トヨタ白川郷自然学校（集合）

内容： ・スノーシューでトヨタ白川郷自然学校周辺を巡るトレッキング

○二つの世界遺産展 ～今、語られる、歴史と神話～

日程： 平成27年7月7日～9日

場所： 三重テラス（東京都中央区日本橋室町2-4-1）

内容： ・常設展示（白川郷、熊野古道、写真展示）

・白川郷、熊野古道セミナー（メディア向け8日、一般向け9日）

・講師 柿崎 京一氏、川邑 まつよ氏

来場者： 常設展示 約200名、メディア向けセミナー 24名、

一般向けセミナー 約40名

■県内世界遺産を核とした観光プロモーションの展開

白川郷合掌造り集落のユネスコ世界遺産登録20周年を好機と捉え、県内の他の遺産等を組み合わせたPRを実施。

○イメージ映像制作

・イベント等で放映できる観光イメージ映像を制作

○首都圏PRイベント開催

・イオン幕張新都心にて観光物産展を実施（1月）

○交通広告PR

・東京メトロ車内デジタルサイネージにてイメージ映像を放映

○メディアタイアップ

・BSフジ「夢の食卓」にて岐阜県の食材を取り上げた番組を放送

○富山県連携プロモーション

・二子玉川ライズにて富山県との合同観光物産展実施（2月）

■エコツーリズムの推進

県内の豊かな自然を保全しつつ、自然観光資源として活用しエコツーリズムを推進するため、関係団体等の活動を支援した。

○活動助成 5団体

・NPO法人 白川郷自然共生フォーラム

- ・一般社団法人 中津川観光協会
  - ・有限会社 中尾温泉
  - ・石徹白地区地域づくり協議会
  - ・NPO 法人 飛騨市・白川郷自然案内人協会
- エコツーリズム連携会議
- ・開催日 平成28年1月14日（木）
  - ・場 所 中濃総合庁舎
  - ・内 容 基調講演、活動発表、意見交換会
- エコツーリズム経営セミナー
- ・開催日 平成27年8月27日（木）
  - ・場 所 下呂市小坂町（がんだて公園）
  - ・内 容 講義、ワークショップ

## ■グリーン・ツーリズムの推進

豊かな自然や伝統文化とその恵みに育まれた農林漁業などの地域資源を活かし、岐阜県ならではのグリーン・ツーリズム（農村滞在型余暇活動）を推進するために、関係市町村及び関係団体と連携し、「受入体制の充実」と「情報発信力の強化」に取り組んだ。

### ○受入体制の充実

- ・グリーン・ツーリズムの体験企画の試行

岐阜県内の地域資源等を活用した、「ぎふらしい」「ぎふならではの」のグリーン・ツーリズムを展開するため、話題性が高く地域の文化に根付いた「食」と「伝承」を組み合わせた体験企画を試行した。

- ・実施期間：平成27年10月18日（日）～12月20日（火）
- ・開催地：山県市、関市 など

### ○情報発信力の強化

- ・シンボルマークの普及・啓発

「ぎふグリーン・ツーリズム」の統一イメージを創出するために作成したシンボルマークについて普及・啓発を行うため、グッズやポスターを県内実践者や道の駅などに配布した。

- ・「ぎふグリーン・ツーリズム」の情報発信

「ぎふグリーン・ツーリズム」を多くの方に知っていただくため、岐阜県ファンクラブ（清流の国づくり政策課発行）への情報掲載や観光キャラバン隊を活用したぎふグリーン・ツーリズムPR冊子の配布などを行った。



## ■世界農業遺産「清流長良川の鮎」の普及啓発

世界農業遺産認定を目指す「清流長良川の鮎」をPRするため、以下の取組みを実施した。

### ○パンフレット等によるPR

- ・日本語版2万部、英語版3千部を作成し国内外に向けPRを実施。
- ・のぼり、横断幕、懸垂幕を各所に設置。

### ○世界農業遺産国際シンポジウムの開催

日 付：平成27年8月29日（土）

場 所：じゅうろくプラザ

参加人数：650名

内 容：基調講演 パルヴィス・クーハフカン 世界農業遺産基金代表

演題：「世界農業遺産の過去・現在・未来」

武内 和彦 国際連合大学上級副学長

演題：「世界農業遺産と森里川海の連環」

パネルディスカッション

テーマ：里川‘SATOKAWA’を世界に ～清流長良川を未来につなぐ～

### ○世界が認めた岐阜の遺産を語る会

日 付：平成28年2月15日（月）

場 所：岐阜グランドホテル

参加人数：410名

内 容：トークショー コーディネーター 涌井 史郎（森林文化アカデミー学長）

プレゼンター 武内 和彦（国連大学上級副学長）

木曾 功（内閣官房参与）

井上 恭介（NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー）

認定記念祝賀会 平瀬民謡保存会による傘踊りの披露

長良高校によるコーラスの披露

岐阜県「世界に誇る遺産」連合設立報告

### ○ラッピングバスによる世界農業遺産と「清流長良川の鮎」のPR

台 数：1台

期 間：平成28年3月18日～（1年程度）

### ○世界が認めた宝物 ～清流長良川の鮎・里川紀行～

日 付：平成28年3月19日（土）

場 所：ぎふ清流文化プラザ

参加人数：500名

内 容：郡上踊、美濃流し仁輪加、関市の獅子舞、コーラス（長良高校）

オカリナ演奏（宗次郎）を通じ、流域の文化に触れ、継承する意識の醸

成を図った。

○その他

- ・各種イベントでのブース出展（県内外） 10回
- ・新聞広告（全面） 2回
- ・世界農業遺産認定までの歩みPV制作
- ・特別番組制作・放送 県政ホットライン30分拡大版



世界農業遺産国際シンポジウム



ラッピングバスによるPR

■国内外に発信できる岐阜県ブランドの一翼を担う商品の開発支援

県内モノづくり企業の意欲的な商品開発プロジェクトを対象として、プロダクトデザイナーとのマッチングによるデザイン開発支援を行うことで、顧客（消費者）の視点に立った付加価値の高いモノづくり、品質・デザイン性・機能性に優れた国内外に発信できる岐阜県ブランド商品の開発支援を行った。

- ・開発支援を行ったプロジェクト件数：15件

■フードビジネス販路開拓推進事業

県内食品製造・加工業者の利益拡大と継続的な発展を図るため、下記商談会及び物産展を行い、清流の国ぎふをアピールしながら、県産品の販売促進に努めた。

【商談会】

木曾三川流域地方創生商談会	平成27年9月8日（火）	名古屋市
FOODEX JAPAN 2016	平成28年3月8日（火）～11日（金）	千葉市

【県産品フェア】

三越伊勢丹日本橋本店・岐阜県フェア	平成27年6月3日（水）～9日（火）	東京中央区
県観光物産展 in セントレア	平成27年10月29日（木）～11月3日（火）	愛知県常滑市
イオンモール新瑞橋「清流の国ぎふフェア」	平成28年1月30日（土）～31日（日）	名古屋市

## 【セミナー】

海外販路開拓セミナー	平成 28 年 1 月 12 日（火）～13 日（水）	岐阜市、高山市
食品商品開発セミナー	平成 28 年 1 月 20 日（水）～21 日（木）	岐阜市、高山市

### ■「県産品愛用推進宣言の店」の指定

県産品愛用による地産地消を推進するため、県内産の食材を利用した料理を提供している飲食店や県内の商品を多数揃えた販売店を「県産品愛用推進宣言の店」に指定し、ホームページ等で広く県民に紹介した。

平成 27 年度は、新たに 19 店舗を指定し、現在 367 店舗（飲食の部：254 店舗（うち県外 2 店舗）、食品製造販売の部 30 店舗、販売の部 83 店舗）が「県産品愛用推進宣言の店」として県産品の利用拡大を行っている。

### ■「飛騨・美濃すぐれもの」PR事業

産地の特性を活かし、安全性、品質等の基準を満たした優良な県産品を「飛騨・美濃すぐれもの」として認定し、県産品の看板商品としてPRするとともに、百貨店等の催事や各種イベントへの出店など、消費者と直結した販売戦略を展開した。

#### ○「飛騨・美濃すぐれもの」の認定

- ・平成 27 年度認定商品：36 点（新規 3 点、更新 33 点）

（※全 58 点 食品 50 点 非食品 8 点）

#### ○認定商品の販売、PR支援

- ・県が開設する県産品アンテナショップでの販売

「ジ・フーズ」及び「THE GIFTS SHOP」において、認定商品の発表を目的とした期間限定の試食・実演販売を実施するとともに、常設商品として、年間を通じて販売した。

- ・食のセレクトショップへの出品



ジ・フーズ店内の様子



THE GIFTS SHOP 店内の様子

JR秋葉原駅近くの「CHABARA（ちゃばら）」の核テナント「日本百貨店しょくひんかん」に岐阜県コーナー「岐阜のすぐれものマルシェ」を出店し、岐阜県の

魅力発信と認定商品の販売支援を行った。

出店商品：20点（18社）

- ・首都圏の高質スーパーマーケットにおける販売プロモーション

首都圏を中心に展開する高質スーパーマーケット「紀ノ国屋」が開催するご当地グルメフェア「飛騨美濃ウィーク」において、「飛騨・美濃すぐれもの」のPRを行った。

実施期間：平成28年1月27日（水）～2月3日（水）

- ・岐阜県内の旅館の女将有志で結成された「岐阜まんまる女将の会」で販売
- ・楽天市場「飛騨・美濃すぐれもの」ショップの出店
- ・商品の背景にある地域とのつながりなどの物語性と商品を紹介する冊子、ホームページ（岐阜ポートフォリオ）を作成し、PRを行った。

## ■都内のセレクトショップと連携した県産品の販売強化

県内モノづくり企業の商品開発力向上、消費者直結型のビジネスモデル構築及び首都圏における販路開拓等の支援を目的に、都内でセレクトショップを経営するメイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)と締結（平成22年2月24日）した連携協力に関する協定に基づき、各種事業を実施した。

### ○県産品のテストマーケティング

首都圏の高感度な消費者の声や、在日外国人の来店が多い同ショップの強みを活かした外国人消費者の声を聴ける機会を提供することで、大都市圏のみならず、海外販売も視野に入れた県内モノづくり企業の商品開発力の向上を図り、また、異なる施設で実施することで商品のターゲット設定等の明確化を図った。

- ・海外・首都圏向けテストマーケティング

（10・11月の2か月間実施、販売実績21社63商品）

- ・「THE COVER NIPPON」・「THE GIFTS SHOP」合同テストマーケティング

（1月の1か月間実施、販売実績15社48商品）

### ○マーケティングイベント

テストマーケティング期間中に参加県内モノづくり企業を対象として、モノづくりへの関心が高い首都圏の消費者や、各国大使館・外資系企業などの在日外国人及びその家族の方と直接交流し、意見交換を行うマーケティングイベントを開催。顧客（消費者）視点のモノづくりを推進するヒントを得る機会、商品価値伝達スキル向上の場を提供した。

- ・実施回数：2回

- ・参加企業：6社

### ○県産品常設販売コーナーの設置（通年）

セレクトショップに「岐阜県商品コーナー」を設置し、岐阜県産品のブランド発

信を図った。



THE COVER NIPPON 店内の様子



マーケティングイベント

### ■県産品販売・情報発信拠点「THE GIFTS SHOP」の展開

平成26年3月に策定した「岐阜県成長・雇用戦略」において最重要プロジェクトに位置付けられている「県産品販路拡大・海外展開支援プロジェクト」として、県産品の大幅な販路拡大に取り組んだ。

#### ○県産品販売・情報発信拠点の開設

平成26年9月にJR岐阜駅に隣接する商業施設「アクティブG」2階に開設した県産品販売・情報発信拠点「THE GIFTS SHOP」において、陶磁器、紙、刃物・金属、木工・家具、繊維、食品、プラスチックといった県内の地場産業を中心とした県産品を、ライフスタイルを模したディスプレイにて販売した。

・販売点数 約2,800アイテム（平成28年3月現在）

#### ○ショップ機能を活用した事業者に対する支援

「THE GIFTS SHOP」において、季節にあわせた特集や、地域や産業、県関連イベントなどにスポットをあてた企画コーナーを設置した。更に、ワークショップやテストマーケティングも定期的に行われ、県民や観光客に対する情報発信のみならず、事業者に対する販売・マーケティング拠点として、ショップの機能を活用した支援を行った。



「THE GIFTS SHOP」外観

## ■県産農産物の魅力発信の強化

### ○Facebook「飛騨・美濃旬の味～岐阜うまいもの大集合～」の開設

平成27年度もFacebookを継続し、岐阜県の食や農産物の旬の味について、情報発信を行った。

- ・平成27年度実績：80回

### ○朝市・直売所の活性化

魅力ある農産物直売所づくり、安全・安心な農産物の生産拡大等に向け、朝市・直売所の運営者及び生産者等を対象に研修会等を開催した。

- ・平成27年度実績：県段階1回、地域段階24回

## ■農業の6次産業化の推進

### ○6次産業化に取り組む事業者の支援

自ら農畜水産物の加工・販売に取り組む農林漁業者を総合的にサポートする「6次産業化サポートセンター」を設置し、各種研修会の開催、商品企画やマーケティング、経営等に関する専門家の派遣を実施した。

### ○6次産業化商品の販路開拓

名古屋市栄の集客施設「オアシス21」に、6次産業化商品のブラッシュアップや新商品開発につなげるテストマーケティングを行う場として、アンテナショップ「ジ・フーズ」を設置・運営した(4/1～1/10)。

## ■農産物のブランド力の向上と新たな特産品づくり

### ○野菜

- ・アスパラガスなどの新たな品目の産地育成や朝市・直売所における品揃えの充実を図るために必要な機械・施設等の導入を支援した。

### ○いちご

- ・岐阜市内の商業施設において消費宣伝PRイベントを開催し、本県育成品種「濃姫」、「美濃娘」の食べ比べを行い認知度の向上を図った。また、新たな育成品種「華かがり」についても試食会を開催し広く紹介した。

### ○えだまめ

- ・収穫体験イベントの開催を支援し、岐阜えだまめ及び産地の魅力をPRした。

### ○柿

- ・産地に対し、高糖度で外観品質の良い「袋掛け富有柿」の生産拡大に向け、必要な技術の普及に努めた。
- ・全農岐阜県本部と連携し、都市部の百貨店にて「袋掛け富有柿」、「果宝柿」の消費宣伝PRイベントを開催し、認知度の向上を図った。

○くり

- ・「ぼろたん」の生産拡大に向け、必要な技術の普及に努めた。
- ・県内のイベントにおいて「ぼろたん」焼き栗の販売を行い、認知度の向上を図った。

○飛騨・美濃伝統野菜

- ・県内で古くから栽培されており、特色のある野菜・果樹等を「飛騨・美濃伝統野菜」として認証している。PR パンフレットの配布、各種メディア・消費者に対して品目の情報提供を行うことにより、認知度の向上に努めた。

(3) 受入体制の強化・充実

■外国人観光客のおもてなし体制の向上

急増する外国人観光客のおもてなし体制の整備促進を図るため、観光事業者を対象としたセミナーの開催など各種取組みを実施した。

○ムスリム旅行専門家招へい

マレーシアのムスリム旅行の専門家を招へいし、県内視察を行うとともに、県内観光事業者を対象に、ハラール対応等に関する実地指導、意見交換を実施（1月）。

○ムスリム観光客向けパンフレット作成

宗教上の理由から食事の配慮が必要なムスリム観光客向けのグルメガイドを作成。

○ムスリム観光客受入促進セミナー

- ・開催日：平成28年2月22日～24日（4回）
- ・開催地：恵那市、下呂市、高山市、岐阜市
- ・参加者：観光事業者、市町村等
- ・内容：東南アジアからのムスリム観光客の受入体制の向上のため、観光事業者等を対象にセミナー、パネルディスカッションを実施。

○免税店拡大

市町村や商店街振興組合等の業界団体を通じた免税制度の周知、免税店登録の働きかけを実施した。

## 2 大都市圏をメインターゲットとした国内誘客の促進

### (1) 様々な情報媒体を活用した魅力発信

#### ■各種メディア（雑誌や新聞、テレビ、映画など）を通じた魅力の発信

##### ○「岐阜プレゼンテーション in 名古屋」の開催

県内情報を広くメディア等に取り上げてもらい、本県への誘客につなげることを目的に、岐阜県・県内市町村・観光協会等が、中京圏の新聞社、テレビ・ラジオ局、番組制作会社、雑誌の地域情報版、旅行会社等に対し、直接句の情報をPRする「岐阜プレゼンテーション in 名古屋」を2度開催した。

第1回：平成27年7月29日（水） 31社 41名のマスコミ等参加

第2回：平成28年2月19日（金） 30社 39名のマスコミ等参加

#### ■観光PRキャラバン隊事業

本県観光の情報を積極的かつ直接的に県内外に発信するため、観光キャラバン隊を編成し、各地で開催されるイベント等に派遣して、岐阜県観光の基本情報や旬な情報などを提供し、岐阜県の観光魅力のPRを行った。

・活動回数：年間計53回（関東5回、関西7回、東海41回）

#### ■岐阜県観光ショールームの設置

首都圏及び関西圏における本県の認知度向上並びに本県への誘客を図るため、首都圏及び関西圏にショールームを所有する県ゆかりの企業と連携し、ショールームを活用した観光情報発信を行った。

##### ○首都圏

・貝印(株) 東京都千代田区岩本町3-9-5

人気料理家による「飛騨・美濃すぐれもの」など岐阜県産食材を使った料理レシピによる「料理デモ&試食会」の開催及び旬の岐阜県観光情報の発信。

・オークヴィレッジ(株) 東京都目黒区自由が丘2-15-22

美濃和紙、白川郷、美濃焼、「飛騨・美濃すぐれもの」、ハム・ソーセージ、飛騨の伝統文化（絵馬、さしこ、花餅）など、テーマごとにセミナーやワークショップを開催し、同時に観光PRパネルを掲出。

・飛弾産業(株) 東京都港区虎ノ門4-3-13

観光パンフレットの配架及び観光ポスターの掲出。

##### ○関西圏

・関西岐阜県人連合会

関西岐阜県人連合会の構成員である(株)中島工務店が整備を進めている大阪府箕面市内に「彩都やまもり」をオープンさせた。「彩都やまもり」でのオープニン

イベント時に関西圏人連合会に観光誘客イベントを委託した。

## ■岐阜フィルムコミッション事業の推進

岐阜県の新たな地域資源の活用や観光交流、地域振興につながるよう、映画やテレビをはじめとする映像作品を支援する「フィルムコミッション事業」を推進。

○平成27年度には11作品の誘致・支援を行った。

(支援した主な作品)

- ・ドラマ『鬼と呼ばれた男～松永安左エ門』(NHK)

放送：平成27年9月

撮影地：岐阜市、恵那市、郡上市

撮影日：平成27年5月

- ・ドラマ『妻と飛んだ特攻兵』(テレビ朝日)

放送：平成27年8月

撮影地：海津市

撮影日：平成27年6月

- ・ドラマ『下町ロケット』(TBSテレビ)

放送：平成27年10月

撮影地：土岐市

撮影日：平成27年10月

## (2) 集客に直結するキャンペーン・イベントの展開

### ■インターネット予約サイトPR事業(「清流の国ぎふ ふるさと旅行券事業」含む)

地方創生交付金を活用し、「清流の国ぎふ ふるさと旅行券事業」大手インターネット予約サイトにおける割引クーポン発行事業を実施。

じゃらん net および楽天トラベルにて最大半額割引となるクーポン券を発行し、旅行券特集ページにおいて観光情報発信を行ったほか、例年通り、観光客が県内各地域を広く周遊する「めぐる旅」を『清流の国ぎふ』めぐる旅キャンペーン」として積極的にPRし、県内に長く滞在する旅を提案した。

○じゃらん net、楽天トラベルにて情報掲載等のPRを実施

[実施期間中の人泊数実績(対前年伸び率)]

じゃらん net	4月～2月	718,028人泊(110.0%)
----------	-------	-------------------

楽天トラベル	4月～2月	856,969人泊(127.7%)
--------	-------	-------------------

### ■ターゲット別国内誘客推進事業

地域ごとに誘客戦略を定め「清流の国ぎふ」めぐる旅のPR活動を展開。

○首都圏 … 北陸新幹線の開通を契機とした新たな宿泊旅行客の獲得

- ・ ツーリズムEXPOジャパン2016出展（9月）
- ・ 二子玉川ライズにおける富山県合同観光物産展（11月）[再掲]
- ・ イオン幕張新都心における観光物産展（1月）[再掲]
- 関西圏 … 地理的な優位性を訴求する新たな宿泊旅行客の獲得
  - ・ 日本旅行Tis大阪支店（JR大阪駅構内）でのPR（10月）
  - ・ 吉本新喜劇とのタイアップによるPR（11月）
  - ・ JTB店舗での岐阜県フェア開催（2～3月）
- 中京圏 … 旬な情報や新たなめぐり方の提案等によるリピーターの確保
  - ・ JR名古屋駅イベント（3回[5月、12月、3月]実施）
  - ・ 中部国際空港における観光PRシート掲出（2月）
  - ・ 観光PRキャラバン隊による継続的な観光展実施（通年）



ツーリズムEXPOジャパン2016出展



中部国際空港における観光PRシート掲出

## ■「清流の国ぎふ ふるさと旅行券」事業

- 大手宿泊予約サイトにおける割引クーポンの発行
  - ・ じゃらんnet、楽天トラベルにおける最大半額となる割引クーポンの発行
- 旅行会社による割引商品の販売
  - ・ 旅行会社による割引商品の造成、販売
- ローカル鉄道の企画列車における割引商品の販売
  - ・ 県内4ローカル鉄道が実施する企画列車において、乗車料金が最大半額の割引商品を造成、販売
- 白山白川郷ホワイトロード半額割引
  - ・ 飛騨地域宿泊者に対し、白山白川郷ホワイトロード利用料が半額となる優待券を配布
- 御嶽山麓エリアへの誘客促進のための買い物等優待券発行
  - ・ 御嶽山麓エリアの宿泊者に対し、域内での買い物が最大半額となる「おんたけクーポン」およびチャオ御岳スノーリゾートリフト半額券を配布

## ■広域周遊観光の促進に向けた近隣県との連携

滞在時間の延長と観光消費の拡大及びリピーターの確保を目的に、近隣他県等と連携を図り、誘客を促進。

### ○富山県連携〔再掲〕

- ・首都圏におけるPRイベントの開催
- ・NEXCO中日本と連携したドライブプランの造成、販売

### ○環白山広域観光推進協議会

- ・域内観光案内パンフレット「プラチナルート」の作成、配布
- ・共同PRイベントの実施

### ○飛越能経済観光都市懇談会

- ・域内観光案内マップの作成、配布
- ・情報発信WEBサイトの制作、運営

### ○愛知・岐阜・三重産業観光スタンプラリー実行委員会

- ・3県をめぐるスタンプラリーの実施

## ■周遊観光を促進する情報ツールの作成（再掲）

## ■「飛驒・美濃すぐれものPR事業（再掲）」

## ■第5回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンの開催

シドニー五輪マラソン金メダリストの高橋尚子さんが大会長を務める「第5回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」を開催し、国内外の有名選手や47都道府県からの一般ランナー約1万人、ボランティア約3千4百人が参加したほか、約14万3千人の観衆がメイン会場・沿道に繰り出した。大会では、本県の観光・食・モノを一体的にPRするイベントなどを併せて開催し、岐阜の魅力を全国に発信した。

- ・開催日：平成27年5月17日（日）
- ・参加者：11,446人（ハーフマラソン：10,385人、3km：1,061人）
- ・内容：岐阜県のB級グルメや県産品販売などの「楽市・楽座」を設置するとともに、高橋尚子さんのランニングクリニック、サンプラザ中野くんのライブなど、多彩なステージイベントを実施。
- ・地元のまちづくり団体や商業団体などが、沿道応援やランナーへのおもてなし、関連イベントを主体的に実施。



道路を埋め尽くすランナー



長良川沿道を走るランナー

## ■清流ミナモ賞の表彰

県内各地での「清流の国ぎふ」づくりの取組みを一層盛り上げていくため、地域の魅力を大いに高め「清流の国ぎふ」づくりに多大な貢献をした6団体に「清流ミナモ賞」を授与した。



清流ミナモ賞授賞式

受賞団体名	主な活動
NPO法人奥矢作森林塾	炭化した流木を活用した河川の水質浄化や、空き家の「古民家リフォーム塾」を開催
長良川温泉泊覧会実行委員会	岐阜市川原町界限・岐阜公園周辺を中心に、観光体験型イベントを開催
あけぼの岐阜	検診の啓発、不安軽減のための勉強会など、乳がんを経験した患者同士の支援活動を展開
岐阜トリッキーパンダース	日本リーグ1部に参戦するバドミントンクラブチーム。シニア向け教室開催など、地域に活力を創出。
NPO法人長良川環境レンジャー協会	長良川流域全域で、河川清掃、環境調査、小学校への環境出前講座などを実施
みたけ華ずしの会	地元の食材を活用した「華ずし」を開発し、地域の魅力として国内外へ発信

## ■大規模イベント・コンベンションの誘致

観光消費額や宿泊者数の拡大など地域経済の活性化に寄与する大規模イベント・コンベンションの誘致・支援を行った。

### ○主な誘致活動

- ・第25回国際ミーティング・エキスポに岐阜県ブースを出展

実施期間：平成27年12月9日（水）・10日（木）

会場：東京国際フォーラム

### ○開催を支援した主なイベント・コンベンション

- ・平成27年度全国福祉高等学校長会 第21回総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会 岐阜大会

開催日 平成27年8月6日（木）・7日（金）

場所 岐阜市

参加者数 268人

- ・平成27年度中部地区母子寡婦福祉研修大会

開催日 平成27年9月6日（日）・7日（月）

場所 岐阜市

参加者数 406 人

・還立藝祭 2015

開催日 平成27年9月12日(土)・13日(日)

場 所 高山市

参加者数 14,700 人

・第17回日本イアンドナルド超音波講座

開催日 平成27年10月3日(土)・4日(日)

場 所 岐阜市

参加者数 330 人

・第12回ワンデーコンベンション in 中部

開催日 平成27年11月15日(日)

場 所 岐阜市

参加者数 720 人

### ■スポーツイベントの誘致

スポーツによる交流人口の拡大と地域の活性化を図るため、国際・全国規模のスポーツイベントを誘致・開催した。

○2015 JAPAN CUP 国際女子ソフトボール大会 in 大垣

開催日：平成27年8月7日(金)～9日(日)

場 所：大垣市北公園野球場

参加国：日本、アメリカ、オーストラリア、台湾

観客数：10,100 人(3日間)



2015 JAPAN CUP  
国際女子ソフトボール大会 in 大垣

○第63回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会

開催日：平成27年9月25日(金)～27日(日)

※26日は、大会史上初の試みとして障がい者種目を実施

場 所：岐阜メモリアルセンター長良川競技場

観客数：13,000 人(3日間)

○全日本マスターズ陸上競技選手権大会

開催日：平成27年10月30日(金)～11月1日(日)

場 所：岐阜メモリアルセンター長良川競技場

観客数：2,500 人(3日間)

### (3) 魅力ある旅行商品の造成促進

#### ■北陸新幹線連携PR事業

北陸新幹線の開業により岐阜県へのアクセスが向上する首都圏を最重要ターゲットに設定し、飛騨地域観光協議会[北陸新幹線対策特別専門委員会]において、飛騨3市

1 村と共に北陸新幹線開業を契機としたプロモーションを展開。

○主要事業

- ・ J R 東日本「びゅう 飛騨」リーフレットの作成と首都圏「びゅうプラザ」店舗への設置
- ・ J R 東日本の首都圏の駅及び車内へのポスター掲出
- ・ 富山県と連携しての旅行商品の造成

■「美しい旅ぎふ」観光プロモーション

地方創生交付金を活用し、「美しい旅ぎふ」観光プロモーションを実施。

○主要事業

旅の案内人として女優 鈴木ちなみさん（岐阜県出身）を起用し、飛騨地域の P R 事業を実施

- ・ 観光 P R 動画作成・公開
- ・ 観光 P R パンフレット作成・配布
- ・ 旅行と食を紹介するトークショー実施

■ N E X C O 中日本連携 P R 事業

N E X C O 中日本と連携し、高速道路を活用したドライブプランを造成・販売

○主要事業

- ・ 「速旅 G o G o ! G (ギフ) 割ドライブプラン」

概要：岐阜県内の高速道路を定額料金でお得に乗り降りできる割引プラン（通称：G (ギフ) 割）

最終利用者数：2, 223 件

- ・ 「ぐるっと飛騨・富山ドライブプラン」

概要：富山県連携事業。飛騨地域から富山県内の高速道路を定額料金でお得に乗り降りできる割引プラン

最終利用者数：1, 500 件



速旅 G o G o ! G (ギフ) 割ドライブプラン



ぐるっと飛騨・富山ドライブプラン

## ■観光タクシー活用モデル事業

本県には「鉄道沿線から歩くには遠すぎる」距離にある観光資源が多数存在するため、鉄道駅を発着点とする観光タクシープランを造成し、二次交通手段としてのタクシー利用を推進することにより、鉄道利用者の誘客を図った。

### ・ 2 駅間周遊型観光タクシープラン

実施地域：東濃西部地域（多治見市・土岐市・瑞浪市）

販売時期：平成27年10月1日（水）～ ※終期なし

観光資源：美濃焼

内容等：美濃焼の窯元や美濃焼関連施設等を巡るタクシープラン

タクシー事業者（6社）が観光タクシーとして運輸局の認可を受けて実施。運賃は通常運賃の3割引き。

### ・ 1 駅発着周遊型観光タクシープラン

実施地域：東濃東部地域（恵那市・中津川市の一部）

販売時期：平成27年10月15日（水）～11月30日（月）平日限定

観光資源：栗・栗きんとん

内容等：栗きんとん販売店舗や栗関連施設を巡るタクシープラン

### 3 海外の動向を踏まえた誘客戦略の展開

#### (1) プロモーション活動の継続的かつ着実な展開

##### ■海外誘客の促進

外国人観光客の岐阜県への誘客を促進するため、アセアン諸国（シンガポール、マレーシア、タイ等）や東アジア諸国（中国、台湾等）、フランス・イギリスを重点市場と位置付け、国の「ビジット・ジャパン」（VJ）事業や近隣県・関係機関との連携のもと、各種誘客事業を展開した。

##### ○海外メディア・旅行エージェント等の招へい、視察旅行へのアテンド

- ・実施件数：57件
- ・対応国：シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、韓国、中国、香港、台湾、フランス、イギリス、ドイツ、オーストラリア、アメリカ

##### ○岐阜県観光セミナーの開催

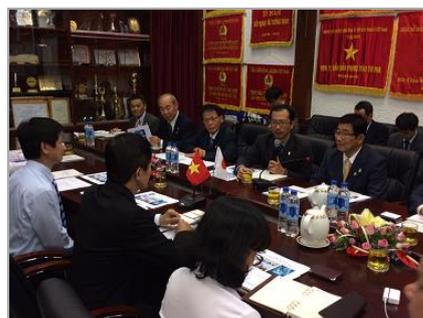
- ・ベトナム（7月）、フィリピン（7月）、中国（1月）

##### ○国際観光展への出展、海外での関係機関へのセールス活動

- ・シンガポール（8月、2月）
- ・マレーシア（9月、2月、3月）
- ・タイ（8月、2月、3月）
- ・インドネシア（8月、10月、11月、3月）
- ・ベトナム（7月、11月、1月）
- ・フィリピン（7月、8月、12月、2月）
- ・中国（5月）
- ・台湾（4月、11月）
- ・香港（6月、7月）
- ・韓国（6月）
- ・フランス（11月）
- ・イギリス（11月）



岐阜県観光セミナー（ベトナム）



大手訪日旅行会社関係者との面談（ベトナム）

## ■欧州をターゲットとした新たなプロモーション

欧州からの誘客を図るため、26年度からプロモーションを開始したフランスに加え、英国において初めて大規模なプロモーションを実施した。

### ○在英国日本大使館での観光PRレセプション参加（英国）

- ・開催日：平成27年11月2日（ロンドン市内）
- ・内容：在英国日本大使館主催の観光PRレセプションにおいて、地歌舞伎の実演、日本酒、飛騨牛の試食等、観光・食・モノのPRを現地メディア、要人等に対し実施。
- ・来場者数：約200人

### ○旅行博 World Travel Market（WTM）への出展（英国）

- ・開催日：平成27年11月2日～5日（ロンドン市内）
- ・内容：欧州最大級の旅行博に出展し、旅行会社、メディア等へのPRを実施。
- ・来場者数：約5万人

### ○コルマール国際観光展への出展（フランス）

- ・開催日：平成27年11月6日～8日（コルマール市内）
- ・内容：フランスを始めとする欧州からの一般来場者に対し、観光、飛騨の地酒などを一体的にPR。
- ・来場者数：約3万人



在英国日本大使館での観光PRレセプション

## ■外国人観光客のおもてなし体制の向上（再掲）

### （2）外国人向けの魅力的な旅行商品の造成・販売

#### ■広域連携による外国人観光客の誘客促進

広域的な周遊性のあるルート形成や近隣の港、空港からの広域的な誘客を促進するため、近隣自治体等と連携した各種事業を展開した。

#### ○昇龍道エリアの広域観光周遊ルート形成促進

ものづくり、サムライなどのテーマ性をもった中部エリアでの広域的な観光周遊ルート形成のため、近隣県等と連携し、国の広域観光周遊ルート形成促進事業の認

定を受け、各種取組みを開始。

認定日：平成27年6月12日（金）

名称：広域観光周遊ルート「昇龍道」

申請主体：中部広域観光推進協議会

○近隣空港、港湾と連携した誘客活動

近隣の空港、港をゲートウェイとした誘客を進めるため、近隣自治体、空港会社等と連携した取組みを実施。

- ・クルーズ船社等へ訪問営業活動（石川県連携）
- ・クルーズ船社の招へい（名古屋商工会議所連携）
- ・中国旅行会社・メディア招へい（富山県連携）
- ・フィリピン旅行会社招へい（中部国際空港(株)連携） など

○中部広域観光推進協議会等の広域協議会を通じた広域連携の推進

広域的な誘客活動を行うため、近隣自治体と共に組織する各種広域観光推進協議会を通じた海外プロモーションを実施。

- ・タイ旅行博T I T F出展（中部広域観光推進協議会）
- ・ジャパンフェスティバル in ベトナム出展（東海地区外国人観光客誘致促進協議会）
- ・台湾旅行商品提案会の実施（海外観光客誘客推進協議会） 等

### （3）ターゲット市場の的確なマーケティング

#### ■海外のマーケティング拠点づくり・海外販路開拓のパートナーづくり支援

○世界の情報発信都市“ロンドン”及び“パリ”における美濃和紙プロモーション

平成26年11月の本美濃紙の「手漉技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機として、世界に広く美濃和紙の魅力を発信し、知名度向上・ブランド力強化及び新たな需要の開拓につなげるため、世界有数の情報発信拠点であるロンドンとパリにおいて、美濃和紙の展示会を実施。

- ・イギリス（ロンドン）

日時：平成27年11月2日（月）～13日（金）

場所：ザ・プラウド・アーキビスト（東ロンドンの中でひとときわ人気の高い運河沿い）

来場者：約1,200人

- ・フランス（パリ）

日時：平成27年11月5日（木）～21日（土）

場所：アトリエ・ブランマント（トレンドの発信地であるパリ市マレ地区）

来場者：約900人（11月13日（金）のテロによる影響あり）

○県の海外連携型アンテナショップにおける販売促進

県が実施している海外主要都市の小売店等と連携して県産品の継続販売を図る

「海外アンテナショップ (Global Antenna Shop : G A S) 構築プロジェクト」により、フランス (パリ) とスイス (チューリッヒ) におけるG A S店舗において、和紙、木工、陶磁器、刃物、日本酒等の展示ならびにテストマーケティングを実施。

・フランス (パリ)

日時： 平成27年11月5日 (木) ~19日 (木)

場所： 「Maison Wa (メゾン・ワ)」 (和雑貨セレクトショップ「Discover Japan」の2号店)

・スイス (チューリッヒ)

日時： 平成27年11月6日 (金) ~1月31日 (日)

場所： 「Sato (サト)」 (和風家具・インテリア雑貨ショップ)



イギリス (ロンドン)



スイス (チューリッヒ)



フランス (パリ)



■農産物 (飛騨牛、富有柿等) の輸出拡大

農産物の輸出拡大に向け、プロモーションや現地調査を実施するとともに、欧州などにおいて飛騨牛や富有柿についての現地交流会やフェアを開催した。

平成27年度輸出実績 飛騨牛 23.4 トン、富有柿 47.2 トン

## <参考資料>

### 1 みんなでつくろう観光王国飛驒・美濃条例

平成19年7月9日公布  
岐阜県条例第39号

#### みんなで作ろう観光王国飛驒・美濃条例

私たちは、古くから「飛驒の国、美濃の国」と呼ばれてきたこの岐阜県を愛してやみません。

この地は、春には桜色に包まれ、夏には深い緑におおわれ、秋には森は赤や黄色に染まり、平野は黄金色に輝き、冬には白く雪化粧をするなど、自然の生みだす五色の彩りに恵まれています。

この地には、日本人の心のふるさとの原風景がいたるところにあります。

この地は、日本の東西交流の中心地として、重要な歴史の舞台になってきました。地の利をいかした独自の文化が生まれ、商いも活発に行われてきました。

そして、太平洋側と日本海側を南北に結ぶ交通網が充実する今日、飛驒・美濃は、日本の東西南北の交流の中心として、明日の舞台になろうとしています。

おりしも、団塊の世代の人々の癒しや自らの再発見を求めたふるさと回帰が進んでいます。

さあ、飛驒・美濃にとって大交流時代の幕開けです。

日本のふるさとの良さをすべて持った飛驒・美濃が、県内外の人たちに癒しを与え、心にゆとりを与えるところとして輝くときです。

観光は、単に観光産業だけではなく、製造業、農林水産業など、幅広く地域経済へ効果をもたらす、すそ野の広いものであり、みんなで大切に育てるべきものです。こうした観光による交流を広げる取組は、明日のふるさとづくりにつながります。

飛驒・美濃には、森林、河川、温泉などの素晴らしい自然、歴史、文化、産業など、日本の貴重な財産として、世界に誇れるものが満ちあふれています。

私たちは、自信を持って、各地から多くの人たちにこの地へ観光に訪れていただくため、総力をあげて、飛驒・美濃のじまんを知ってもらい、見つけだし、創りだす飛驒・美濃じまん運動を進めます。そして、飛驒・美濃を、誇りの持てるふるさとへと発展させていくため、観光王国飛驒・美濃を私たちみんなで作ります。

(めざすもの)

第一条 私たちは、飛驒・美濃のじまんを知ってもらい、見つけだし、創りだす飛驒・美濃じまん運動(以下「じまん運動」といいます。)に取り組むことで、観光産業を基幹産業として発展させ、もって飛驒・美濃の特性をいかした誇りの持てるふるさとをつくります。

(合い言葉)

第二条 私たちは、「知ってもらおう、見つけだそう、創りだそう ふるさとのじまん」を合い言葉に、じまん運動にみんなで取り組みます。

(県の役割)

第三条 県は、じまん運動についての総合的な施策を定め、計画的に取り組みます。

- 2 県は、県民、市町村、観光事業者、観光に関する団体などが、共通の認識のもとお互い連携できるよう、総合的な調整を行います。
- 3 県は、道路をはじめとした交通網など、観光に必要な基盤を整備します。

(じまん運動を進めるしくみ)

第四条 県は、じまん運動の方向性などを検討するしくみとして飛驒・美濃の観光を考える委員会(以下「委員会」といいます。)をつくります。

- 2 県は、飛驒・美濃全体にかかわるじまん運動を進めるしくみとして飛驒・美濃じまん県民会議(以下「県民会議」といいます。)をつくります。
- 3 県は、市町村などと協力して、それぞれの地域で、じまん運動を進めるしくみとして飛驒・美濃じまん地域会議(以下「地域会議」といいます。)をつくります。
- 4 県民会議と地域会議は、一体となってじまん運動を進めます。

(知ってもらおうふるさとのじまん)

第五条 私たちは、ふるさとのじまを県内外の人たちに知ってもらうため、あらゆる機会を利用して積極的に情報を発信します。

- 2 私たちは、豊かな風土に育まれた農林水産物、匠の技により作りだされた地場産品などを積極的に活用するとともに販売します。

(見つけだそうふるさとのじまん)

第六条 私たちは、ふるさとの隠れたじまを見つけたすため、ふるさとについて学びます。

- 2 私たちは、次の時代を担う子どもたちがふるさとに誇りを持つことができるよう、学校、地域、家庭などさまざまなところでふるさと教育を進めます。

(創りだそうふるさとのじまん)

第七条 私たちは、ふるさとのじまを素敵なものに育てるとともに、新しいふるさとのじまを創りだします。

- 2 私たちは、地場産業や地域産業が活発になるよう、ふるさとの特性をいかしたブランド力のある商品の開発に取り組みます。

(おもてなしの心)

第八条 私たちは、「いい旅 ふた旅 ぎふの旅」をキャッチフレーズに、飛驒・美濃に一人でも多くのお客様に何度でもお越しいただき、楽しんでいただくため、一人一人がおもてなしの心でお客様をお迎えします。

(美しい自然を守る観光)

第九条 私たちは、豊かで美しい自然を守るとともに、自然を観察したり体験しながらそのしくみを学び、大切にする観光を積極的に進めます。

(ふるさとの文化にふれる観光)

第十条 私たちは、古いまちなみや素晴らしいふるさとの文化などを大切に、後世に伝えるとともに、お客様にこの文化にふれていただける観光を積極的に進めます。

(ものづくりの心にふれる産業観光)

第十一条 私たちは、伝統技術を持つ匠の技や歴史的・文化的な価値の高い工場、機械設備などのものづくりの現場や製品などを通じて、ものづくりの心にふれる産業観光を積極的に進めます。

(周りの地域や団体との連携)

第十二条 私たちは、一人でも多くのお客様にお越しいただけるよう、周りの地域や広域的な観光に関する団体と連携し、協力してお客様をお迎えします。

(世界中の人たちとの交流)

第十三条 私たちは、観光施設の案内や表示をできるだけ多くの言語で書き表すなど、外国からのお客様に心から楽しんでいただけるよう心がけます。

2 県は、世界中から多くのお客様にお越しいただけるよう、外国との文化・経済交流、青少年の交流などを積極的に応援します。

(お客様にやさしいまちづくり)

第十四条 県は、市町村などと協力して、バリアフリーのやさしいまちづくりを進めるなど、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず、お客様に楽しくすごしていただけるよう心がけます。

2 私たちは、観光施設のトイレをきれいにするなど、お客様に気持ちよく観光をしていただけるよう心がけます。

(飛騨・美濃じまんの日)

第十五条 県は、8月21日を飛騨・美濃じまんの日とします。

(飛騨・美濃じまん運動実施計画)

第十六条 県は、じまん運動を計画的に進めるため、飛騨・美濃じまん運動実施計画を定めます。

2 県は、飛騨・美濃じまん運動実施計画を定めるときや変更するときは、委員会と県民会議の意見をききます。

(飛騨・美濃じまん白書)

第十七条 県は、毎年度、じまん運動の成果を白書としてまとめ、評価や検証をし、次の運動につなげていきます。

(その他)

第十八条 この条例に定めることのほか、必要なことについては、知事が定めます。

#### 附 則

1 この条例は、平成十九年十月一日から施行します。

2 岐阜県観光審議会設置条例（昭和四十二年岐阜県条例第三十八号）は、廃止します。

## 2 「清流の国ぎふ」憲章

### 清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

岐阜県は、古来、山紫水明の自然に恵まれ、世界に誇る伝統と文化を育んできました。豊かな森を源とする「清流」は、県内をあまねく流れ、里や街を潤しています。そして、「心の清流」として、私たちの心の奥底にも脈々と流れ、安らぎと豊かさをもたらしています。

私たちの「清流」は、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など匠の技を磨き、千有余年の歴史を誇る鶺鴒などの伝統文化を育むとともに、新たな未来を創造する源になっています。

私たち岐阜県民は、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝ものとして、活かし、伝えてまいります。

そして、人と人、自然と人との絆を深め、世代を超えた循環の中で、岐阜県の底力になり、100年、200年先の未来を築いていくため、ここに「清流の国ぎふ憲章」を定めます。

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

#### 知

清流がもたらした  
自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

#### 創

ふるさとの宝ものを磨き活かし、  
新たな創造と発信に努めます

#### 伝

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

# 平成28年度版 飛騨・美濃じまん白書

～平成27年度 飛騨・美濃じまん運動の進捗について～

岐阜県 観光国際局

平成29年3月